



徳成寺

寺とモカおら版

第163号2020年7月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

—発行責任者—

都県をまたぐ往来も解禁になり、新型コロナと共存する日々が

住職 大山健児
坊守 大山ひとみ

スタートしました。今更ですが、「人間万事塞翁が馬」の故事成語が

頭に浮かびます。「昔、中国にいた老人・塞翁の持ち馬が隣国に逃げた。

しばらくすると塞翁の馬が隣国の馬を連れて戻ってきた。ところが塞翁の息子は

その馬に乗っていて落馬し骨折してしまった。そこにふいに戦争が始まり、

若者はみんな戦死する運命なのに、骨折した塞翁の息子だけは兵役を免れた。」

こんなエピソードから出来た言葉が「人間万事塞翁が馬」です。私たちは

「最悪なことが起きた！」とすぐ早合点しますが、何が起きるかなんて、



誰にも分かるものじゃありません。悲観も楽観もせず、平常心で過ごしましょう。

大山超世の耳を澄ませば



お世話になっています、長男です。香川県では新型コロナ禍も一段落ついたという様相ですが、長い自粛期間を経験した後ですから外出が憚られる空気が抜けるのはまだまだ先の印象です。そんな中、住職がかわら版で掲載しているコラム「お坊さんの処方箋」の動画版の投稿をはじめました。毎週金曜日に時事ネタや季節の話など、かわら版本誌で掲載していない法話を Youtube に掲載しています。私が撮影しており、カメラアングルや明るさなど、撮影に際して気を付ける事盛りだくさんで、意外と大変でした。Youtube で「徳成寺」と検索して是非ご覧ください。また、日常のことやお寺のイベント行事を紹介する Facebook (<https://www.facebook.com/tokujoji087>) と Twitter (@tokujoji_kagawa) をはじめました。もっとお寺を身近に感じていただけるように投稿していきますので、併せてお願いします。写真は撮影に使っているカメラです。